

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】平成 18 年 7 月 13 日 (2006.7.13)

【公開番号】特開 2004-102242 (P2004-102242A)
 【公開日】平成 16 年 4 月 2 日 (2004.4.2)
 【年通号数】公開・登録公報 2004-013
 【出願番号】特願 2003-191289 (P2003-191289)
 【国際特許分類】

G 1 0 L 13/08 (2006.01)

G 1 0 L 13/00 (2006.01)

【F I】

G 1 0 L 3/00 H

G 1 0 L 3/00 E

【手続補正書】
 【提出日】平成 18 年 5 月 25 日 (2006.5.25)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】特許請求の範囲
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】 複数の単語が連鎖してなる複合語を含むテキスト情報から当該複合語を抽出する抽出手段と、

抽出された複合語に、当該複合語を構成する複数の単語の意味を示す複合語意味情報を付与する付与手段と、

複合語意味情報および当該複合語意味情報に対応する分離位置を示す少なくとも一つの分離規則を予め記憶する記憶手段と、

付与された複合語意味情報に基づいて、前記記憶手段に記憶された分離規則の一つを適用して、抽出された複合語を分離する位置を決定する決定手段と、

決定された分離位置に基づいてテキスト情報の韻律を生成する生成手段と、
 を有することを特徴とする音声合成装置。

【請求項 2】 前記決定手段は、

付与された複合語意味情報と完全一致する複合語意味情報が前記記憶手段に記憶されていない場合、前記記憶手段に記憶されかつ付与された複合語意味情報と部分一致する複合語意味情報に対応する分離位置を、抽出された複合語の分離位置とする、

ことを特徴とする請求項 1 記載の音声合成装置。

【請求項 3】 前記決定手段は、

付与された複合語意味情報と完全一致する複合語意味情報が前記記憶手段に記憶されていない場合、付与された複合語意味情報の一部を任意の意味に置換することにより、前記記憶手段に記憶されかつ付与された複合語意味情報と部分一致する複合語意味情報を検索する、

ことを特徴とする請求項 2 記載の音声合成装置。

【請求項 4】 複合語に関するデータを予め記憶するデータベースと、
 前記データを用いて分離規則を構築する構築手段と、
 をさらに有することを特徴とする請求項 1 記載の音声合成装置。

【請求項 5】 前記データは複合語を構成する複数の単語を含み、
 前記構築手段は、

前記データの複数の単語の少なくともいずれか一つを分離位置の決定に影響を及ぼさな

い単語とするワイルドカードを用いて分離規則の構築を行う、
ことを特徴とする請求項4記載の音声合成装置。

【請求項6】 前記決定手段は、
前記記憶手段に記憶された複数の分離規則が適用可能である場合、用いられたワイルドカード数に基づいて、当該複数の分離規則の中から適用する分離規則を選択する、
ことを特徴とする請求項5記載の音声合成装置。

【請求項7】 前記データは複合語の分離位置を含み、
前記構築手段は、
前記データベースに記憶されたデータから一つのデータを選択し、選択されたデータと同一の複合語意味情報を含むデータを前記データベースに記憶されたデータの中から収集し、収集されたデータの数に対する選択されたデータと同一の分離位置を含むデータの数の割合の信頼度を取得し、取得された割合に基づいて前記データを規則化する、
ことを特徴とする請求項4記載の音声合成装置。

【請求項8】 前記決定手段は、
前記記憶手段に記憶されている複数の分離規則が適用可能である場合、取得された割合の高い規則から、当該複数の分離規則の中から適用する分離規則を選択する、
ことを特徴とする請求項7記載の音声合成装置。

【請求項9】 複数の単語が連鎖してなる複合語を含むテキスト情報から当該複合語を抽出する抽出ステップと、
抽出した複合語に、当該複合語を構成する複数の単語の意味を示す複合語意味情報を付与する付与ステップと、

付与した複合語意味情報に基づいて、複合語意味情報および当該複合語意味情報に対応する分離位置を示しかつ記憶手段に記憶された分離規則の一つを適用して、抽出した複合語を分離する位置を決定する決定ステップと、

決定した分離位置に基づいてテキスト情報の韻律を生成する生成ステップと、
を有することを特徴とする音声合成方法。

【請求項10】 コンピュータに、
複数の単語が連鎖してなる複合語を含むテキスト情報から当該複合語を抽出する抽出機能と、

抽出した複合語に、当該複合語を構成する複数の単語の意味を示す複合語意味情報を付与する付与機能と、

付与した複合語意味情報に基づいて、複合語意味情報および当該複合語意味情報に対応する分離位置を示しかつ記憶手段に記憶された分離規則の一つを適用して、抽出した複合語を分離する位置を決定する決定機能と、

決定した分離位置に基づいてテキスト情報の韻律を生成する生成機能と、
を実現させるための音声合成用プログラム。

【請求項11】 コンピュータに、
複数の単語が連鎖してなる複合語を含むテキスト情報から当該複合語を抽出する抽出機能と、

抽出した複合語に、当該複合語を構成する複数の単語の意味を示す複合語意味情報を付与する付与機能と、

付与した複合語意味情報に基づいて、複合語意味情報および当該複合語意味情報に対応する分離位置を示しかつ記憶手段に記憶された分離規則の一つを適用して、抽出した複合語を分離する位置を決定する決定機能と、

決定した分離位置に基づいてテキスト情報の韻律を生成する生成機能と、
を実現させるための音声合成用プログラムが記録された記録媒体。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

【課題を解決するための手段】

本発明の音声合成装置は、複数の単語が連鎖してなる複合語を含むテキスト情報から当該複合語を抽出する抽出手段と、抽出された複合語に、当該複合語を構成する複数の単語の意味を示す複合語意味情報を付与する付与手段と、複合語意味情報および当該複合語意味情報に対応する分離位置を示す少なくとも一つの分離規則を予め記憶する記憶手段と、付与された複合語意味情報に基づいて、前記記憶手段に記憶された分離規則の一つを適用して、抽出された複合語を分離する位置を決定する決定手段と、決定された分離位置に基づいてテキスト情報の韻律を生成する生成手段と、を有する構成を採る。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明の音声合成方法は、複数の単語が連鎖してなる複合語を含むテキスト情報から当該複合語を抽出する抽出ステップと、抽出した複合語に、当該複合語を構成する複数の単語の意味を示す複合語意味情報を付与する付与ステップと、付与した複合語意味情報に基づいて、複合語意味情報および当該複合語意味情報に対応する分離位置を示しかつ記憶手段に記憶された分離規則の一つを適用して、抽出した複合語を分離する位置を決定する決定ステップと、決定した分離位置に基づいてテキスト情報の韻律を生成する生成ステップと、を有するようにした。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

本発明の音声合成用プログラムは、コンピュータに、複数の単語が連鎖してなる複合語を含むテキスト情報から当該複合語を抽出する抽出機能と、抽出した複合語に、当該複合語を構成する複数の単語の意味を示す複合語意味情報を付与する付与機能と、付与した複合語意味情報に基づいて、複合語意味情報および当該複合語意味情報に対応する分離位置を示しかつ記憶手段に記憶された分離規則の一つを適用して、抽出した複合語を分離する位置を決定する決定機能と、決定した分離位置に基づいてテキスト情報の韻律を生成する生成機能と、を実現させるようにした。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

本発明の記録媒体は、コンピュータに、複数の単語が連鎖してなる複合語を含むテキスト情報から当該複合語を抽出する抽出機能と、抽出した複合語に、当該複合語を構成する複数の単語の意味を示す複合語意味情報を付与する付与機能と、付与した複合語意味情報に基づいて、複合語意味情報および当該複合語意味情報に対応する分離位置を示しかつ記憶手段に記憶された分離規則の一つを適用して、抽出した複合語を分離する位置を決定する決定機能と、決定した分離位置に基づいてテキスト情報の韻律を生成する生成機能と、を実現させる音声合成用プログラムが記録されるようにした。